

部会3「BIMを活用した建築確認 検査の実施検討部会」検討状況

(建築確認におけるBIM活用推進協議会
2024年度 検討状況)

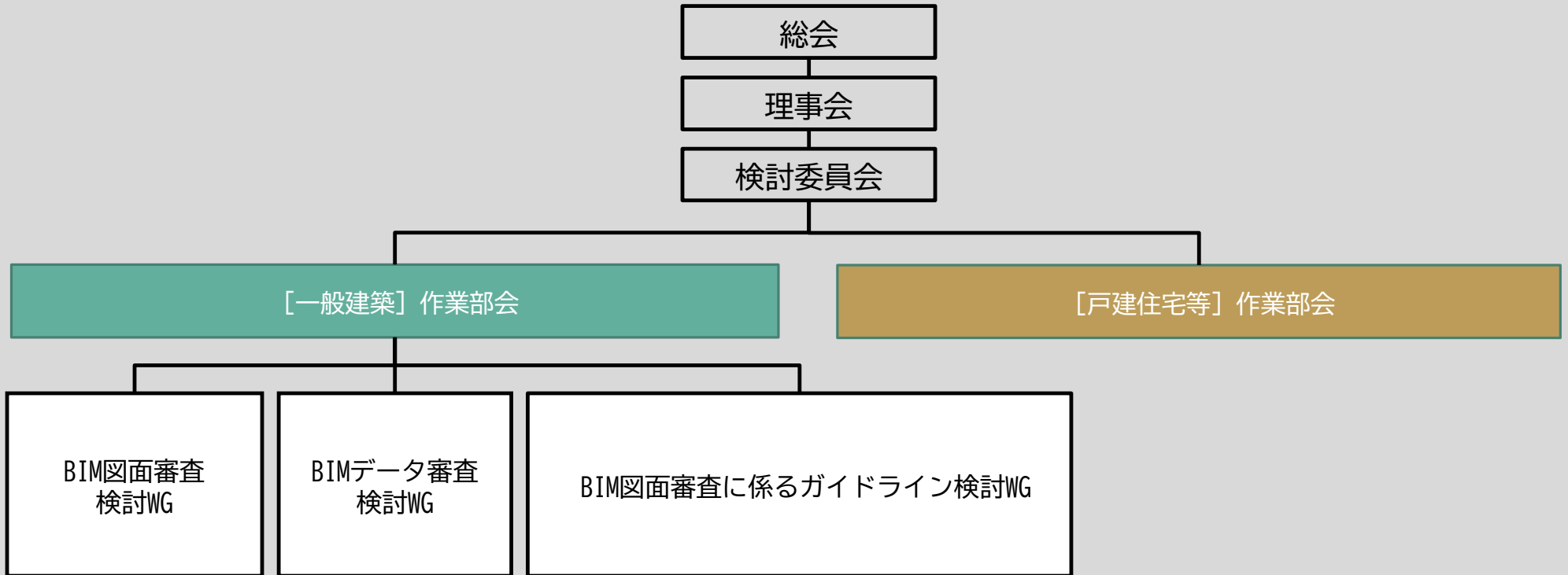
建築確認におけるBIM活用推進協議会 事務局

目次

- (1) 検討体制
- (2) 検討結果概要
- (3) 令和7年度 活動案について

(1) 検討体制

検討する建築物に応じ2つの作業部会と、検討事項に合わせた3つのWGを設置した。



※：協議会の事務を処理するため、事務局を日本建築行政会議指定機関委員会に置く
※：作業部会には、必要に応じてBIMソフトウェアベンダー等が参加する

(2) 検討結果概要

◆検討内容

1. 「BIM図面審査」における手続・審査方法の整理、環境整備

- 1) 「BIM図面審査」に係るガイドライン・申請審査者用マニュアル（申請手続き・審査方法等）の検討
- 2) 入出力基準、申告書※の検討 ※「設計者チェックリスト」を名称変更
- 3) 参考テンプレートを用いて作成された確認申請図の確認

2. 「BIMデータ審査」の基礎的要件の検討、課題整理

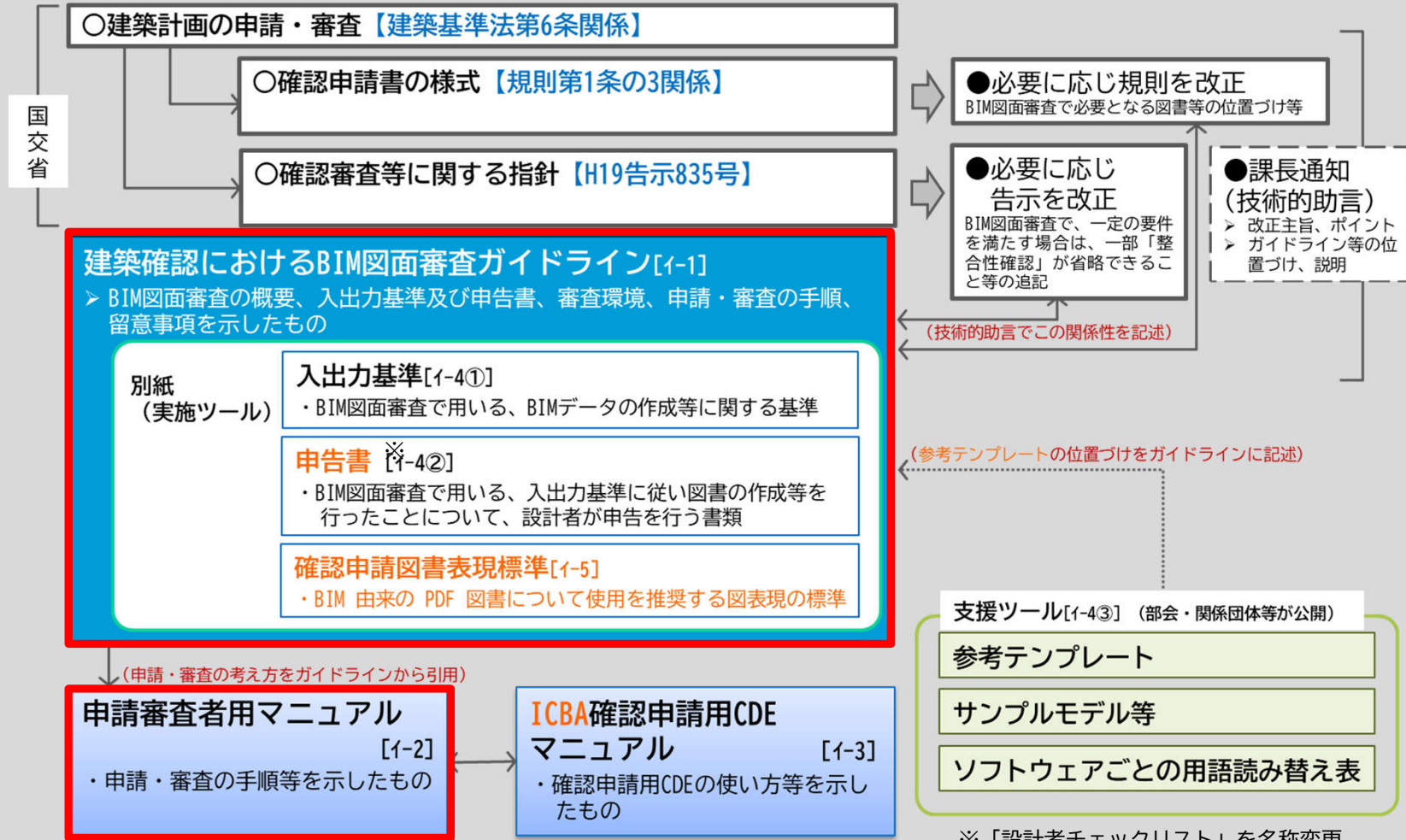
- 1) 「BIMデータ審査」の定義に向けた検討
- 2) 「BIMデータ審査」に必要な詳細な事項案のリスト
- 3) 「BIMデータ審査」に対応した確認申請用CDEの仕様の検討

3. BIMモデルを活用した小規模建築物適用の検討、課題整理

4. BIM講習会支援を通じ、協議会成果の普及を推進

2025年度中のBIM図面審査の開始に向けた成果（案）

■2025年度中のBIM図面審査の開始に向けた成果（案）



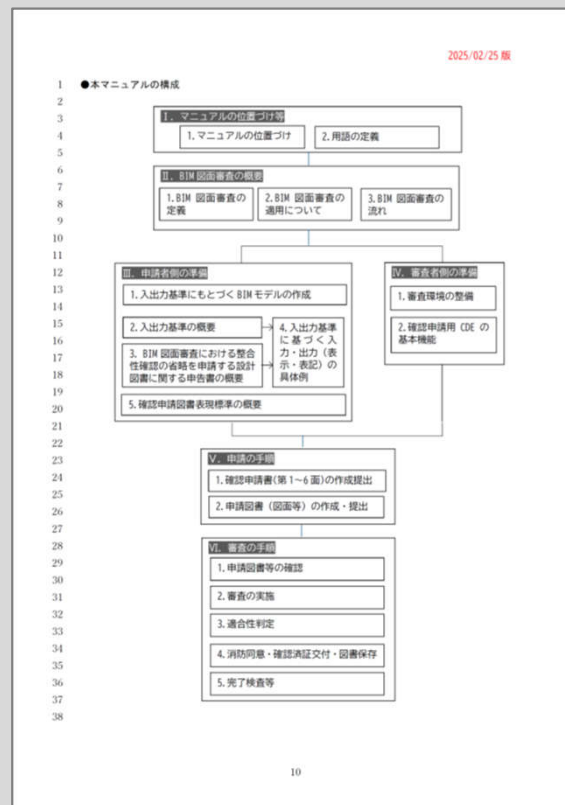
1. 「BIM図面審査」における手続・審査方法の整理、環境整備

1) 「BIM図面審査」に係るガイドライン・申請審査者用マニュアル（申請手続き・審査方法等）の検討
ガイドラインの補足・解説を目的とした申請審査者用マニュアル（素案）のとりまとめを行った。

2025/02/25 版

1		
2		
3		
4		
5	はじめに	
6	1. マニュアルの位置づけ等	7
7	1. マニュアルの位置づけ	
8	2. 用語の定義	
9	II. BIM図面審査の概要	15
10	1. BIM図面審査の定義	
11	2. BIM図面審査の適用について	
12	3. BIM図面審査の流れ	
13	III. 申請者側の準備	25
14	1. 入出力基準に基づくBIMモデルの作成	
15	2. 「入出力基準」の概要	
16	3. 「BIM図面審査」における整合性確認の役割を申請する設計図書に関する申告書の概要	
17	4. 入出力基準に基づく入出・出力（表示・表記）の具体例	
18	5. BIM図面審査における申請図書表現標準	
19	IV. 審査者側の準備	51
20	1. 審査環境の整備	
21	2. 確認申請用CDEの基本機能	
22	V. 申請の手順	57
23	1. 「確認申請書1～6面」の作成・提出	
24	2. 申請図書（図面）の作成・提出	
25	(1) BIM由来のデータの作成（BIMソフトウェア）について	
26	(2) BIM由来ではない付加された情報（2D加算）の取り扱いについて	
27	(3) BIMソフトウェアからのデータの変換方法について	
28	(4) BIM図面審査として受け付けられない場合について	
29	VI. 審査の手順	63
30	1. 申請図書等の確認	
31	(1) データ出力の確認について	
32	(2) IFCデータの活用について	
33	2. 審査の実施	
34	3. 適合性判定	
35	4. 消防同意・確認済証交付・図書保存	
36	(1) 消防同意について	
37	(2) 適合性判定について	
38	(3) 確認済証の交付について	
39	(4) データの保存について	

5



0. 目次

はじめに

I. マニュアルの位置づけ等

II. BIM図面審査の概要

III. 申請者側の準備

IV. 審査者側の準備

V. 申請の手順

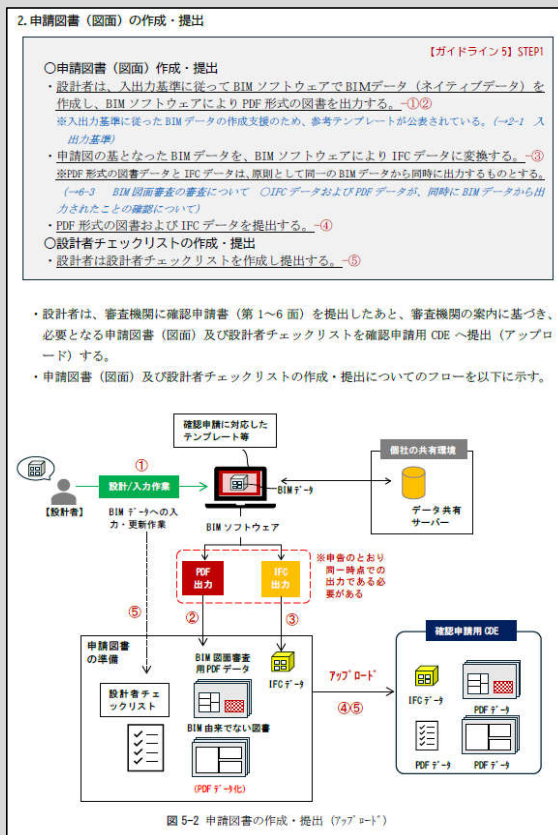
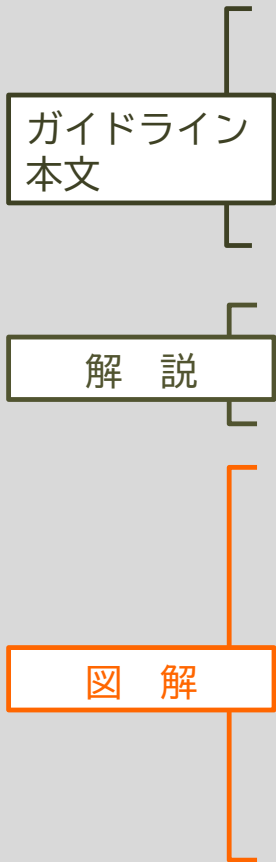
VI. 審査の手順

・申請や審査の手順に沿って参照可能な構成に組み換えを行っている

・ガイドライン6.留意事項については、該当部位に組み込み、参照しやすくした

1. 「BIM図面審査」における手続・審査方法の整理、環境整備

1) 「BIM図面審査」に係るガイドライン・申請審査者用マニュアル（申請手続き・審査方法等）の検討
ガイドラインの補足・解説を目的とした申請審査者用マニュアル（素案）のとりまとめを行った。



○マニュアルの基本的な構成

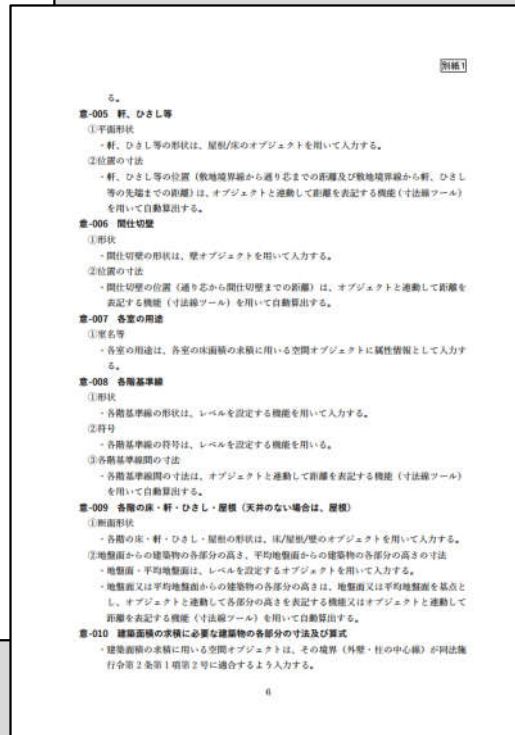
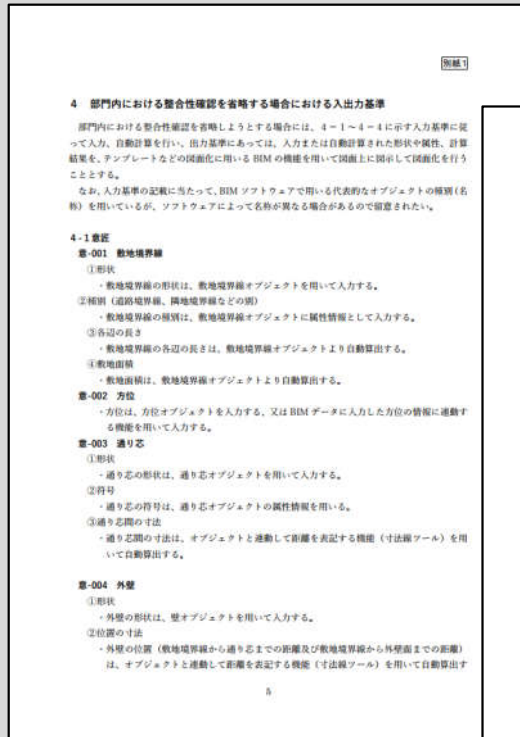
・ガイドライン本文の引用、その解説、必要に応じ図解を付記することで、ガイドラインとの関係をわかりやすくした

申請の手順の解説（申請図書の作成について）

1. 「BIM図面審査」における手続・審査方法の整理、環境整備

2) 入出力基準、申告書※の検討 ※「設計者チェックリスト」を名称変更

BIM図面審査で用いる、BIMデータの作成に関する基準を示した入出力基準、申告書※の検討を行った。



<入出力基準の構成>

- 3-1 意匠
- 3-2 構造
- 3-3 機械設備
- 3-4 電気設備

1. 「BIM図面審査」における手続・審査方法の整理、環境整備

3) 参考テンプレートを用いて作成された確認申請図の確認

確認申請図書作成や審査の効率化・合理化のため、申請者・審査者に標準的な確認申請図書の表現を検討した。

図様3

2 意匠関係
2-1 凡例

1) 防火戸等（防火戸、不燃戸、戸）関係

イ) 作動

- ・常時閉鎖式（直接手で開くことができ、かつ、自動的に閉鎖するもの）の表示：□、[]
- ・随時閉鎖式（熱感知器、煙感知器又は熱煙複合式感知器と連動して自動的に閉鎖するもの）の表示：○、()
- ・自動的に閉鎖することができる構造を有しないものの表示：図みなし
- ・温度ヒューズの場合は、凡例を追加又は凡例の内容に追記する。

ロ) 遮煙性能（令第112条第19項第2号ロ）の遮煙性能をいう

- ・アルファベットによる表示（遮煙性能なし：添え字なし、遮煙性能あり：S）
- ・数字による表示（遮煙性能なし：1、遮煙性能あり：2）
- ・これらの添え字は防火戸等の右側に記載し、差別化するため大きさを下げ、半角としてよい。

以下、数字による表示で凡例を示す（アルファベット表示の場合は、1を削除、2をSに読み替え）。

■特定防火設備

図記号	文字記号	色	凡例の内容
①		赤	特定防火設備（令第112条第1項）
②	[H]1	赤	常時閉鎖式特定防火設備（令第112条第19項第1号）
③	[H]2	赤	常時閉鎖式特定防火設備 遮煙性能あり（令第112条第19項第2号）
④	(H)1	赤	随時閉鎖式特定防火設備（令第112条第19項第1号）
⑤	(H)2	赤	随時閉鎖式特定防火設備 遮煙性能あり（令第112条第19項第2号）

随時閉鎖式の場合、凡例の内容に熱感知器、煙感知器又は熱煙複合式感知器の別を追記してもよい（以下、随時閉鎖式において同じ）。

2

図様3

■防火設備

図記号	文字記号	色	凡例の内容
①		赤	防火設備（法第2条第9号の2ロ）
②	[H]1	赤	常時閉鎖式防火設備（令第112条第19項第1号）
③	[H]2	赤	常時閉鎖式防火設備 遮煙性能あり（令第112条第19項第2号）
④	(H)1	赤	随時閉鎖式防火設備（令第112条第19項第1号）
⑤	(H)2	赤	随時閉鎖式防火設備 遮煙性能あり（令第112条第19項第2号）

■遮炎時間の別による防火設備（当該防火設備の左側に当該遮炎時間（防火設備、特定防火設備を除く）を記載する。ここでは例として、10分間防火設備を示す。）

図記号	文字記号	色	凡例の内容
①	10分	赤	防火設備（令第112条第12項）
②	10[H]1	赤	常時閉鎖式10分間防火設備（令第112条第19項第1号）
③	10[H]2	赤	常時閉鎖式10分間防火設備 遮煙性能あり（令第112条第19項第2号）
④	10(H)1	赤	随時閉鎖式10分間防火設備（令第112条第19項第1号）
⑤	10(H)2	赤	随時閉鎖式10分間防火設備 遮煙性能あり（令第112条第19項第2号）

3

<構成>

1 はじめに

2 意匠関係

2-1 凡例

2-2 特記事項

2-3 確認申請図面で推奨する図表現（検討中）

3 構造関係（検討中）

3-1 確認申請図面で推奨する図表現

4 設備関係（検討中）

4-1 凡例

4-2 確認申請図面で推奨する図表現

意匠関係 防火設備凡例（抜粋）

2. 「BIMデータ審査」の基礎的要件の検討、課題整理

1) 「BIMデータ審査」の定義に向けた検討

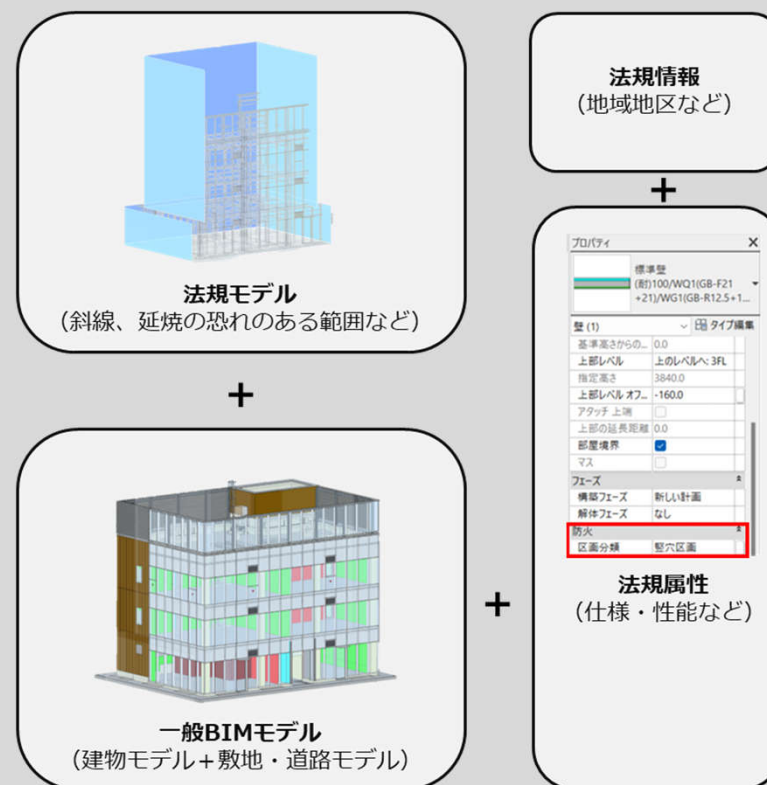
R5年度までの検討成果をもとに検討し、定義のとりまとめを行った。

BIMデータ審査とは

BIMモデルに含まれる形状情報や属性情報を取り出して見ることや
審査補助機能を活用する申請・審査をいい、確認申請図書にBIM
モデルから出力されたIFCデータ等を加えて、確認申請用CDEに
提出し、申請・審査を行うものである。

BIMデータ審査の目的

BIMデータ審査は、建築計画の法適合の確認を効率化し、法令遵守
の確実性を高め、建築確認申請・審査の生産性の向上を図る。



「BIMデータ審査用モデル」の構成

2. 「BIMデータ審査」の基礎的要件の検討、課題整理

1) 「BIMデータ審査」の定義に向けた検討

BIMデータ審査は、審査手法に応じて2つに分類、段階的に実装する。

BIMデータ審査の構成

・ビュー審査

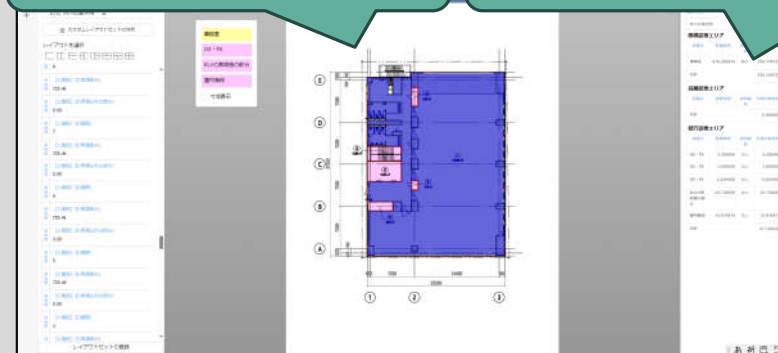
BIMモデルから各規定の適合の判断に必要な要素を取り出し、表示された情報により、申請・審査を行うもの。

・デジタル審査

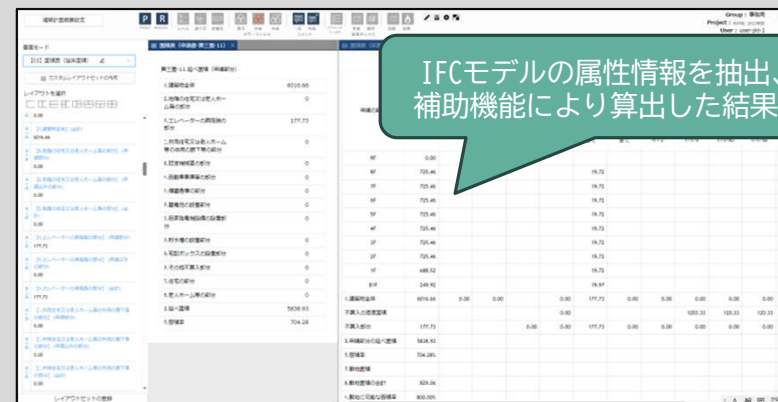
ビュー審査で表示された情報をもとに、各種数値計算や面積算定等を行う審査事項に対し、審査補助機能を用いて機械的に算出された結果を活用して申請・審査を行うもの。

IFCモデルの形状情報から審査に必要な情報を抽出・表現

IFCモデルの属性情報から審査に必要な情報を抽出・表現



IFCモデルの属性情報を抽出、審査補助機能により算出した結果を示す



項目	単位	値	単位	値	単位	値	単位	値	単位	値
1. 建築面積	㎡	8028.06								
2. 延床面積	㎡	1377.73								
3. 延床面積(1階)	㎡	0.00								
4. 延床面積(2階)	㎡	725.46								
5. 延床面積(3階)	㎡	725.46								
6. 延床面積(4階)	㎡	725.46								
7. 延床面積(5階)	㎡	725.46								
8. 延床面積(6階)	㎡	725.46								
9. 延床面積(7階)	㎡	725.46								
10. 延床面積(8階)	㎡	725.46								
11. 延床面積(9階)	㎡	725.46								
12. 延床面積(10階)	㎡	725.46								
13. 延床面積(11階)	㎡	725.46								
14. 延床面積(12階)	㎡	725.46								
15. 延床面積(13階)	㎡	725.46								
16. 延床面積(14階)	㎡	725.46								
17. 延床面積(15階)	㎡	725.46								
18. 延床面積(16階)	㎡	725.46								
19. 延床面積(17階)	㎡	725.46								
20. 延床面積(18階)	㎡	725.46								
21. 延床面積(19階)	㎡	725.46								
22. 延床面積(20階)	㎡	725.46								
23. 延床面積(21階)	㎡	725.46								
24. 延床面積(22階)	㎡	725.46								
25. 延床面積(23階)	㎡	725.46								
26. 延床面積(24階)	㎡	725.46								
27. 延床面積(25階)	㎡	725.46								
28. 延床面積(26階)	㎡	725.46								
29. 延床面積(27階)	㎡	725.46								
30. 延床面積(28階)	㎡	725.46								
31. 延床面積(29階)	㎡	725.46								
32. 延床面積(30階)	㎡	725.46								
33. 延床面積(31階)	㎡	725.46								
34. 延床面積(32階)	㎡	725.46								
35. 延床面積(33階)	㎡	725.46								
36. 延床面積(34階)	㎡	725.46								
37. 延床面積(35階)	㎡	725.46								
38. 延床面積(36階)	㎡	725.46								
39. 延床面積(37階)	㎡	725.46								
40. 延床面積(38階)	㎡	725.46								
41. 延床面積(39階)	㎡	725.46								
42. 延床面積(40階)	㎡	725.46								
43. 延床面積(41階)	㎡	725.46								
44. 延床面積(42階)	㎡	725.46								
45. 延床面積(43階)	㎡	725.46								
46. 延床面積(44階)	㎡	725.46								
47. 延床面積(45階)	㎡	725.46								
48. 延床面積(46階)	㎡	725.46								
49. 延床面積(47階)	㎡	725.46								
50. 延床面積(48階)	㎡	725.46								
51. 延床面積(49階)	㎡	725.46								
52. 延床面積(50階)	㎡	725.46								
53. 延床面積(51階)	㎡	725.46								
54. 延床面積(52階)	㎡	725.46								
55. 延床面積(53階)	㎡	725.46								
56. 延床面積(54階)	㎡	725.46								
57. 延床面積(55階)	㎡	725.46								
58. 延床面積(56階)	㎡	725.46								
59. 延床面積(57階)	㎡	725.46								
60. 延床面積(58階)	㎡	725.46								
61. 延床面積(59階)	㎡	725.46								
62. 延床面積(60階)	㎡	725.46								
63. 延床面積(61階)	㎡	725.46								
64. 延床面積(62階)	㎡	725.46								
65. 延床面積(63階)	㎡	725.46								
66. 延床面積(64階)	㎡	725.46								
67. 延床面積(65階)	㎡	725.46								
68. 延床面積(66階)	㎡	725.46								
69. 延床面積(67階)	㎡	725.46								
70. 延床面積(68階)	㎡	725.46								
71. 延床面積(69階)	㎡	725.46								
72. 延床面積(70階)	㎡	725.46								
73. 延床面積(71階)	㎡	725.46								
74. 延床面積(72階)	㎡	725.46								
75. 延床面積(73階)	㎡	725.46								
76. 延床面積(74階)	㎡	725.46								
77. 延床面積(75階)	㎡	725.46								
78. 延床面積(76階)	㎡	725.46								
79. 延床面積(77階)	㎡	725.46								
80. 延床面積(78階)	㎡	725.46								
81. 延床面積(79階)	㎡	725.46								
82. 延床面積(80階)	㎡	725.46								
83. 延床面積(81階)	㎡	725.46								
84. 延床面積(82階)	㎡	725.46								
85. 延床面積(83階)	㎡	725.46								
86. 延床面積(84階)	㎡	725.46								
87. 延床面積(85階)	㎡	725.46								
88. 延床面積(86階)	㎡	725.46								
89. 延床面積(87階)	㎡	725.46								
90. 延床面積(88階)	㎡	725.46								
91. 延床面積(89階)	㎡	725.46								
92. 延床面積(90階)	㎡	725.46								
93. 延床面積(91階)	㎡	725.46								
94. 延床面積(92階)	㎡	725.46								
95. 延床面積(93階)	㎡	725.46								
96. 延床面積(94階)	㎡	725.46								
97. 延床面積(95階)	㎡	725.46								
98. 延床面積(96階)	㎡	725.46								
99. 延床面積(97階)	㎡	725.46								
100. 延床面積(98階)	㎡	725.46								
101. 延床面積(99階)	㎡	725.46								
102. 延床面積(100階)	㎡	725.46								

3. BIMモデルを活用した小規模建築物適用の検討、課題整理

主に小規模建築物の設計時に用いられるソフトウェアベンダーに対し、ヒアリングを実施した。

○ヒアリング先

- ・ハウスメーカー等が使用するソフトウェア
- ・中小規模でも利用される3次元CADソフトウェア

○内容

- ・ソフトウェアの概要、操作手順のデモ
- ・ソフトウェアの整合性担保の仕組み、ファイル出力の状況について

○結果

いずれのソフトウェアも、BIM図面審査が求めている「BIMの機能」は具備していると考えられ、当該ソフトウェアにより作成された根拠として、IFCの出力が実施されれば、BIMオーサリングソフトと同様にBIM図面審査に対応できる感触を得た。

○今後の検討の可能性

具体のIFC出力の検証、木造等の小規模建築物の入出力基準（案）の作成などを経て、BIM図面審査開始時、あるいは、さほど遅れない時期に対応できるとよいと考える。

4. BIM講習会支援を通じ、協議会成果の普及を推進

日本建築行政会議が実施する審査者向けBIM操作講習会を支援した。



令和6年度 BIM操作講習会
Building Information Modelling
好評につき 継続開催

建築DXに向けて ～電子申請とBIMによる確認審査～

2026年春、いよいよ確認申請で本格的なBIM活用が始まります！

日本建築行政会議では、今年度も昨年度実施した【応用編】を開催します。
本講習会では、2025年度実施予定の「電子申請」と、「BIM図面審査」の最新情報と、実際にBIMソフトを操作しながら、BIMを用いることで確認申請図の整合性が担保できる仕組みについて、楽しく理解を深める機会です。今年度が、本講習会の最後の開催となります。是非、ご参加ください！

2025年 電子申請本格稼働
2026年春 BIM図面審査
2029年春 BIMデータ審査
20XX年 BIMデータした建設業界全体の効率化

主催 日本建築行政会議
共催 麻生建築&デザイン専門学校
運営 日本建築行政会議 指定機関委員会 大阪電気通信大学 / 工学院大学(予定)

開催方式 対面集合による実機ハンズオン形式

BIMソフト Archicad・Revit

受講料 無料

募集 正会員1団体につき、1名
なお、申込締切日以降で、座席に余裕がある場合は、2名以上の受講が可能です。ご希望を申込用紙にご記入ください。

内容

- ① 電子・BIMを活用した確認申請の最新動向
- ② 3階建て事務所ビルのサンプルモデルを用いた操作体験
 - ・整合性が担保される確認申請図書作成の仕組み
 - ・審査項目の確認（防火区画/延焼の恐れのある部分の開口部など）
 - ・IFCデータとは

お申し込み/お問い合わせ 日本建築行政会議 指定機関委員会 BIM操作講習会運営事務局
mail shteikikan_info@j-eri.jp TEL 03-3796-0223 (内線：911) (日本ERI株式会社)

【開催概要】

◆開催場所

札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡 計10回

◆実施期間

2024年9月～2025年3月

◆使用ソフト

Revit, Archicadのいずれか

◆対象

日本建築行政会議 正会員
(451特定行政庁、144指定確認検査機関)

◆内容

- ・電子申請・BIM図面審査等の最新動向
- ・簡易的なモデルを通じてBIMモデルの概要を理解する
- ・確認申請用サンプルモデルを用いた審査項目の確認（意匠）
- ・設備モデル、構造モデルの連携概要
- ・テンプレートの仕組み

(3) 令和7年度 活動案について

令和7年度は令和6年度の活動を継続する予定である。

1. 建築BIM推進会議 建築BIM環境整備部会 審査TFの取り組み事項に係る検討
2. 1. の他、国土交通省建築BIM推進会議及び各部会との連携した取組み、BIM活用に係る課題検討等
3. 「BIM図面審査」実施に係るBIM講習会支援を通じ、協議会成果の普及を推進